

# 第7編 青少年教育

## 第1章 青少年教育の推進

### 第1節 概 況

人間性豊かで創造性に富んだ、心身ともにたくましい青少年を育成するため、多様な体験活動やボランティア活動を促進するとともに、地域活動・団体活動や野外活動の一層の充実に努めた。

## 第2章 心豊かでたくましい青少年の育成

青少年の自立と社会参加を促進し、心豊かでたくましい青少年を育成するため、市町村や関係機関・団体と連携を図りながら次の事業を実施した。

### 第1節 自然とふれあう事業

#### 1 青少年自然体験推進事業

##### (1) 親子体験活動

各青少年自然の家において、自然体験や生活体験等様々な体験活動を通して、子どもたちの感受性や自主性、社会性を育てるとともに、親子での協働作業や共通体験により、親子の「きずな」を深めた。

(内容)

野外炊事やテント泊等の生活体験活動、登山・星座観察等の自然体験活動 等

##### (2) 自然体験活動

各青少年自然の家の特色を生かした体験活動機会を提供することで、県民に自然体験活動の普及、啓発を図った。

(内容)

入所学校利用者説明会、オープンデー、野外炊事等による自然体験活動 等

##### (3) 宿泊自然体験活動

子どもたちの社会性や生きる力を育むため、異年齢集団を編成し、テント泊や野外炊事等の生活プログラム、動植物観察や冒険プログラム等、4日間の体験活動を実施した。

(会場・期日・参加者数)

会場	期日	参加者数
北毛青少年自然の家	8月3日～6日(3泊4日)	39名
妙義青少年自然の家	8月4日～7日(3泊4日)	40名
東毛青少年自然の家	8月4日～7日(3泊4日)	40名

### 第2節 地域における体験活動

#### 1 青少年自立支援事業

様々な要因で社会(学校を含む)とうまく関われない青少年(児童生徒を含む)を対象に、様々な体験活動の場を提供し「社会性」を育む事業に取り組んだ。

(1) ぐんまいきいきチャレンジ

障害等、様々な要因で社会とうまく関われない青少年（児童生徒を含む）やその保護者を対象に、年間延べ26日間、自然体験や生活体験等、様々な体験活動を通して「社会性」を育むとともに、心の居場所づくりを図る事業を実施した。

ア 会場・実施回数・延べ参加者数

(ア) 北毛青少年自然の家

全4回開催（延べ4日間）参加者数53名

(イ) 妙義青少年自然の家

全8回開催（延べ15日間）参加者数450名

(ウ) 東毛青少年自然の家

全5回開催（延べ7日間）参加者数177名

イ 内容

クラフト製作、野外炊飯、野外ゲーム、登山、天体観察、キャンプファイヤー、保護者同士の情報交換会等

(2) 青少年自立・再学習支援事業（通称 G-SKY Plan）

（公財）群馬県青少年育成事業団に業務を委託し実施。不登校等、様々な悩みを抱える青少年を対象に、相談活動や体験活動等を通して自立を支援した。

相談等件数 1,354件、体験活動 34件

進路相談会 8月26日（日）、9月30日（日）、10月28日（日）

### 第3節 社会参加活動

#### 1 青少年ボランティア活動支援

(1) 青少年ボランティア体験

主に夏休み期間中等、北毛・妙義・東毛青少年自然の家において高校生等がボランティア活動を体験する機会の提供に努めた。

参加者：516名（延べ人数）

(2) 青少年ボランティア養成

ボランティア活動に興味関心のある青少年などを対象に研修を行い、ボランティアとは何か、ボランティア活動を行う際の心構えや留意点等について、講義・演習等を通して学んだ。また、青少年自然の家で利用者への指導や指導補助を行ったり、施設整備や環境整備を行ったりするボランティアの養成も併せて実施した。

会場・期日・参加者数

会場	期日	参加者数
北毛青少年自然の家	① 6月23日～24日（1泊2日）	8名
	② 7月14日～15日（1泊2日）	12名
	③ 12月8日～9日（1泊2日）	中止
妙義青少年自然の家	6月23日～24日（1泊2日）	17名
東毛青少年自然の家	6月30日～7月1日（1泊2日）	31名

#### 2 青少年団体の育成

青少年が集団の中で自己を確立し、地域社会の人々との連帯感を醸成する上で青少年団体が果たす役割は大きい。また、青少年団体が各種の活動を通じて、青少年に社会生活に必要な規範やルールを身に付けさせるための多様な経験の機会を提供することは、大変有意義であることから、全県的な組織を持つ青少年団体が行う事業に対して支援を行った。

（公社）群馬県子ども会育成連合会ほか2団体への事業費補助金 総額1,300千円

## 第3章 青少年教育施設の整備充実

### 第1節 概況

#### 1 青少年教育施設の管理運営状況

青少年教育施設として施設を設置し、北毛・妙義・東毛青少年自然の家は地域機関として県直営で、青少年会館は指定管理者制度を導入して公益財団法人群馬県青少年育成事業団（旧 財団法人群馬県青少年会館）が指定管理者として管理運営を行っている。

#### 2 各施設整備状況

平成30年度は、北毛青少年自然の家のキャンプ場ポンプユニット更新、妙義青少年自然の家の2階屋上防水改修工事、東毛青少年自然の家の消防設備改修、外灯修繕などを実施し、快適で利用しやすい施設整備に努めた。

#### 3 各施設利用状況

平成30年度各施設利用状況

(単位：人)

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
群馬県青少年会館	3,861	3,207	3,935	4,439	4,407	4,362	5,645	4,094	3,886	2,953	3,344	3,920	48,053
北毛青少年自然の家	1,290	1,931	2,595	2,263	2,461	1,482	781	392	359	253	143	529	14,479
妙義青少年自然の家	1,507	1,687	1,804	1,311	2,283	738	1,351	825	337	72	156	119	12,190
東毛青少年自然の家	1,811	4,087	6,546	3,502	2,128	902	4,569	2,130	1,086	575	519	1,244	29,099
合計	8,469	10,912	14,880	11,515	11,279	7,484	12,346	7,441	5,668	3,853	4,162	5,812	103,821
平成29年度	8,752	12,707	16,564	11,715	13,214	7,035	13,286	7,649	5,062	3,459	3,284	5,102	107,829
前年度比	97%	86%	90%	98%	85%	106%	93%	97%	112%	111%	127%	114%	96%

年度別利用者実績

(単位：人)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
青少年会館	40,166	38,645	43,006	40,686	46,391	44,815	47,631	46,401	48,053
北毛青少年自然の家	23,615	23,763	16,946	25,026	23,374	22,838	23,398	20,083	14,479
妙義青少年自然の家	17,654	19,391	19,839	15,905	15,092	15,038	13,137	13,035	12,190
東毛青少年自然の家	26,946	31,732	30,405	30,419	29,313	29,242	29,863	28,310	29,099
計	108,381	113,531	110,196	112,036	114,170	111,933	114,029	107,829	103,821

### 第2節 青少年会館

#### 1 概況

青少年会館は、昭和57年6月に青少年を主な対象とする都市型宿泊研修施設として開館した。施設は、前橋市の北部に位置し、敷島公園、県総合運動場、県総合スポーツセンター、群馬大学荒牧キャンパス等に囲まれた静かなたたずまいの中にある。平成18年4月より指定管理者制度が導入され、公益財団法人群馬県青少年育成事業団（旧 財団法人群馬県青少年会館）が管理・運営を行っている。

#### 2 業務

県内唯一の青少年及び青少年団体活動の拠点施設としての特色を生かしながら、利用者の視点に立った施設運営を展開している。

また、青少年関係情報に関する情報発信機能の充実に努めるとともに、県・市町村教育委員会をはじめ、青少年団体、学校等との連携を図り、青少年及び成人を対象とした「青少年健全育成事業」

「青少年自立・再学習支援事業」など、様々な事業を実施した。

平成30年度実施事業

		事業名	事業の概要
指定管理事業			
ア 青少年 指導者 養成 事業	1	青少年指導者専門講座 「子どもを未来に導く指導者セミナー」 【実施日】2月9日～10日	青少年活動指導者を対象に、指導者としての専門的な技能と知識を身に付けスキルアップを図るために、青少年理解についての講義や実習等を実施した。 【参加者】青少年活動指導者、青少年団体指導者等 延べ36名
	2	リーダー指導者研修会 「リーダー指導者ミーティング」 【実施日】2月24日	地域の青少年活動や青少年団体活動に情熱を持ち、団体のリーダーとして今後の活動が期待される指導者に対し、より専門的な知識・技能等を習得するための講座を実施した。 【参加者】地域活動指導者、青少年団体指導者等 6名
	3	市町村青少年教育担当者研修会 「リスクマネジメントセミナー」 【実施日】6月27日	公民館や社会教育施設の職員、青少年団体の指導員、教員等を対象に、現場で役立つスキル向上を図るために、青少年を取り巻く喫緊の課題等の講義や演習を行った。 【参加者】市町村関係者、学校関係者、青少年団体関係者、老人介護施設関係者等 31名
イ 青少年 ボランティア の養成・ 連携 促進 事業	4	ボランティア体験講習会 【実施日】 体験：5月26日 振り返り：10月13日	県子連や大学等と連携し、大学生等にボランティア活動の魅力を感じさせる機会を提供した。 【参加者】県内大学生、専門学校生等 延べ14名 【特記事項】県子ども会育成連合会と共催
	5	中学生・高校生交流ボランティア体験 【実施日】8月18日、19日	県内の中学生と高校生に対し、ボランティア活動への理解を深めるための講座を実施し、隣接する公園で行われているイベントでボランティア体験を行った。 【参加者】25名
	6	体験活動・ボランティア活動支援センター 【実施日】通年	地域や団体・学校等でボランティア人材を必要とする依頼者と、ボランティア活動を希望する青少年や指導者とのコーディネートを行った。 【相談件数】16件 【ボランティア参加者数】33名
ウ 青少年 の交流 ・体験 活動 事業	7	青少年自立支援 「ふれあい・ゆうあい交流フェスタ」 【実施日】 実行委員会：4回 事前研修：10月13日 交流フェスタ：10月14日	心のバリアフリーと温かな社会の実現を目指して、県内各地区で障害児等の学校外活動を行っている団体が、日頃の活動の成果を発表するとともに、中学生から一般までのボランティア、青少年団体及び一般来場者等との交流を深めた。 【参加者】一般県民、ボランティア(中学生以上) 延べ1,127名
	8	親子ふれあい会館ロッジ ①おやこ木工教室 ②秋の工芸教室 【実施日】 ①7月21日～22日(1泊2日) ②10月27日～28日(1泊2日)	小学生の親子を対象に、1泊2日の体験活動を通して子どもの創造性・社会性を育むとともに、親子のふれあいや親同士の交流を深めた。 【参加者】小学生の親子 ①33名 ②34名
	9	国際交流推進事業 「世界の文化体験キャンプ」 【実施日】12月1日～2日 (1泊2日)	国際交流を推進するために、小学生が外国の文化に触れたり、海外留学生に対して日本文化に触れる機会を提供して交流を行った。 【参加者】小学生24名
エ 青 少	10	青少年団体連携・協力事業 ①「夏休み宿題お助け隊」 ②「親子もちつき体験」	青少年団体と連携協力し、親子を対象とした体験活動を実施し、子どもの創造性や社会性を育むとともに親子での協働作業や共通体験により親子のきずなを深めた。

年 団 の 育 成 及 び 支 援		【実施日】①8月5日 ②1月13日	【参加者】①小学生 70名 ②親子 56名
		青少年団体支援事業 【実施日】通年	青少年会館を拠点として活動する青少年団体及び県内青少年活動推進団体との連携を強化し、各団体の活動の充実を図るための情報提供や指導・相談業務などを実施した。
オ 情 報 収 集 ・ 情 報 提 供	11	青少年関係情報提供システム 「ぐんま青少年ねっと」 【実施日】通年	インターネット上で青少年育成に関する情報収集を行い、学校や青少年団体指導者及びボランティアに関心のある青少年向けに、会館のブログやFacebookを通じて情報発信をした。 また、来館者にインターネット環境を提供し、青少年育成に関する情報収集の推進を図った。 【参加者】学習情報コーナー利用者 延べ257名
委託事業			
青 少 年 自 立 ・ 再 学 習 支 援	12	青少年自立・再学習支援事業 (G-SKY Plan) 【実施日】通年 進路相談会①8月26日(日) ②9月30日(日) ③10月28日(日)	不登校等、様々な悩みを抱える青少年及びそれらの保護者等を対象に、相談活動の実施や様々な体験活動を通じて青少年の自立を支援した。併せて、再学習のための各種情報を収集・提供した。 相談等件数1,354件 体験活動 34件 【特記事項】コーディネーター6名を配置し、関係機関や団体等の協力を得て、体験活動ができる場を提供するとともに、相談に応じることができた。
	13	ステップアップ支援促進事業 【実施日】 平成30年6月から平成31年2月	高校中退者等を対象に高等学校卒業程度の学力を身に付けるための学習相談及び学習支援を行った。 学習相談 電話・メール 424件 面談 88件 計512件 学習支援 支援日 計57日 参加実人数 14名(延べ193名)

### 第3節 北毛青少年自然の家

#### 1 概況

北毛青少年自然の家は、昭和43年4月、県下4番目の青年の家として設置され、青年の家と少年自然の家の機能を併せ持つ青少年教育施設として「北毛青年の家」の名称で運営してきた。

施設は、子持山・小野子山の鞍部に位置する標高700mの高原にあつて、約15haの広大な敷地と300名を収容する教育キャンプ場・体育館・総合グラウンド・野外施設等を有している。豊かな緑と恵まれた自然環境の中で、野外活動や登山、オリエンテーリング、各種スポーツなどが体験できる最適の場である。

平成22年4月1日、「北毛青少年自然の家」に名称を変更した。

#### 2 業務

北毛青少年自然の家は、青少年の自己啓発や望ましい人間関係に寄与するため、その機能を最大限に発揮し、青少年の社会連帯感の高揚、豊かな情操のかん養、心身ともに健全な青少年育成に努め、青少年のみならず多くの利用者の期待に応えている。

平成30年度実施事業

	事業名	事業の概要
1	入所学校利用説明会 【実施日】4月12日(木)	入所希望学校を対象に、施設やフィールド、プログラムの理解を図るとともに、プログラミングについての研修を実施した。 【参加者】学校教諭等 35名
2	ぐんまいいききチャレンジ 北毛フレンドリークラブ2018 【実施日】 ①5月19日(土) ②10月10日(水) ③12月2日(日) ④1月12日(土)	様々な要因により社会とうまく関われない青少年に対して、自然体験や生活体験・共同体験を通して心の居場所づくりを行った。また、様々な要因により社会とうまく関われない子どもを抱える親に対してはカウンセリングや情報交換等を行い心の安定を図るとともに親同士の交流を深めた。 【参加者】53名(児童生徒 25名、保護者等 28名)
3	青少年ボランティア養成 【実施日】 ①6月23日(土)～24日(日) ②7月14日(土)～15日(日) ③12月8日(土) ～9日(日)中止	講義や演習等を通して、ボランティア活動の意義や留意点を学ぶとともに、地域社会の一員として積極的に社会貢献へ取り組もうとする青少年を育成することをねらいとして実施した。 【参加者】大学生・社会人等 20名
4	青少年ボランティア体験 「夏休み高校生施設ボランティア」等 【実施日】夏季休業中等	夏季休業中の高校生にボランティア体験や社会参加の機会を提供し、主体性や社会性を育むことをねらいとして実施した。 【参加者】高校生等 延べ133名
5	宿泊自然体験活動 北毛キッズキャンプ 「ふれあい・感動・夢体験」 【実施日】 事前学習 7月15日(日) 本学習 8月3日(金) ～6日(月)	北毛の豊かな自然の中で、3泊4日の宿泊体験やキャンプ生活を通して、様々な体験活動や協働作業・共通体験をすることにより、子どもたちの社会性や生きる力の育成を図った。 【参加者】小・中学生 39名
6	「親と子の紅葉登山」 【実施日】10月27日(土)	初心者向けの親子登山。親子で紅葉の登山を楽しみながら、登山や自然の楽しさを味わうとともに、その留意点を学んだ。 【参加者】中止
7	親子体験活動 ①親子キャンプ 【実施日】 9月22日(土)～23日(日) ②親と子の星空の夕べ 【実施日】 11月10日(土)～11日(日)	①初心者向けの親子キャンプ。野外炊事やテントの設営・撤収の基礎を習得し、テント泊を楽しみながら、親子の「ふれあい」を深めた。 【参加者】小学生とその家族等 20名 ②親子で望遠鏡を操作し星空観察をしながら、自然の神秘と偉大さを感じるとともに、科学に対する豊かな感性を育てるとともに、親子で協働作業や共通体験をすることにより、親子の「ふれあい」を深めることができた。 【参加者】小学生とその家族等 38名
8	自然体験活動推進 北毛ふれあい塾 【実施日】 ①11月17日(土) ②11月24日(土) ③12月8日(土) ④1月26日(土) ⑤2月9日(土)	自然の豊かさや地域の人材を活用し、ふだんあまりできない体験を通して、子どもたちの居場所をつくとともに、心豊かでたくましい子どもを育成することをねらいとして実施した。 【参加者】①12名(うどん打ち) ②19名(スポーツ雪合戦) ③25名(餅つき) ④23名(棒巻きパン) ⑤26名(サンドブラスト)
9	創立50周年記念事業 ①親と子のバードウォッチング 【実施日】4月21日(土) ②オープンデー 【実施日】9月30日(日)	①北毛の豊かな自然の中で生きる野鳥たちを双眼鏡で探しながら、鳴き声や姿を身近に感じ、その生態や観察の方法などについて学んだ。 【参加者】親子 44名 ②設立50周年を記念して、植樹や、普段北毛青少年自然の家で行っている人気のプログラムを誰でも体験できる「オープンデー」を開催した。 【参加者】一般県民 190名

## 第4節 妙義青少年自然の家

### 1 概況

妙義青少年自然の家は、昭和46年8月に「妙義少年自然の家」の名称で設置された。妙義荒船佐久高原国定公園内の名勝妙義山の山麓自然林(標高416m)の中に位置し、豊かな自然に囲まれ、四季を通して野鳥をはじめ多くの動植物の姿が見られる。近くには、日本三奇勝の一つに数えられる奇岩・怪石で知られている石門群、文化財豊富な妙義神社、45種5千本の桜の木で知られる「さくらの里」、妙義のゆかりある絵画を展示している「富岡市立妙義ふるさと美術館」や自然関連の特有な展示をしている「自然史博物館」などがある。

平成22年4月1日、「妙義青少年自然の家」に名称を変更した。

### 2 業務

自然に恵まれた環境の中で、少年たちに集団宿泊や野外活動を体験させ、体力づくり、創作活動、自然探索、奉仕活動などを通して情操や社会性が培われるよう取り組んでいる。

#### 平成30年度実施事業

	事業名	事業の概要
1	利用学校指導者研修会 【実施日】4月17日(火)	施設利用希望学校を対象に、野外活動や宿泊活動等に必要な指導技術の研修を行った。 【参加者】利用学校指導者 33名
2	親子登山 【実施日】 ①4月28日(土) ②11月3日(土)	親と子で妙義登山を通して、青少年の健全育成を図るとともに、親子のきずなを深めることができた。 【参加者】①57名(新緑の妙義登山) ②106名(紅葉の妙義登山)
3	親子キャンプ 【実施日】 ①8月25日(土)～26日(日) ②9月1日(土)～2日(日)	親子でテント泊を体験し、沢遊びやドラム缶風呂を楽しむ活動を通して、親子のきずなを深めることができた。 【参加者】①親子 32名 ②親子 31名
4	青少年ボランティア養成 【実施日】6月23日(土) ～24日(日)	講義や実技・討議などの研修を通して、地域社会の一員としてボランティアや社会貢献しようとする青少年を育成することをねらいとして実施した。 【参加者】高校生・大学生等 17名
5	青少年施設ボランティア体験 【実施日】夏季休業中等	社会参加を促すために夏季休業中等を利用して施設ボランティア活動を実施した。 【参加者】高校生等 延べ203名
6	宿泊自然活動体験 妙義キッズ・アドベンチャー 「仲間と挑む4日間」 【実施日】 事前学習 7月14日(土) 本学習 8月4日(土) ～7日(火)	テント泊や野外炊事体験等、様々な体験活動を実施。リーダー役として、高校生や大学生に子どもたちと活動を共にしてもらい、ボランティアグループ等の協力を得て、グループの連帯感や他人を思いやる心などが育ち、子どもたちの成長する姿が見られた。 【参加者】小学生 40名
7	ぐんまいきいきチャレンジ 「妙義フレンドリークラブ」 【実施日】 ①7月5日(木)～6日(金) ②7月11日(水)～12日(木) ③7月17日(火) ④8月16日(木)～19日(日) ⑤8月24日(金) ⑥10月11日(木)～12日(金) ⑦10月23日(火) ⑧10月30日(火)～31日(水)	様々な要因で社会とうまく関われない青少年に自然体験や交流活動を通して生活に生きがいや目的意識を持たせることをねらいとして実施した。 事業参加をきっかけにして学校に徐々に登校できるようになったり、自分の生き方を考えるよい機会ができたという成果が得られた。 【参加者】450名(児童生徒 237名、保護者等 213名)
8	自然の家体験フェスタ ～群馬県民の日記念事業～ 【実施日】10月27日(土)	地域で活動している郷土芸能や伝承遊び体験を提供したり、模擬店等を設置し、地域との交流や参加者相互の交流を深めることをねらいとして実施した。 【参加者】147名

9	チャレンジ in 妙義 「鎖場チャレンジ登山」 【実施日】12月1日(土)	妙義山の醍醐味である鎖場登山を通して、親子のきずなを深めることができた。 【参加者】小学4年生以上の子どもとその保護者 36名
10	冬期ホリデー事業 【実施日】 ①12月8日(土) ②12月9日(日) ③1月12日(土) ④1月19日(土) ⑤2月2日(土) ⑥2月9日(土)	冬期の施設利用促進と、冬の妙義山を体験してもらうため本事業を実施。各回特色ある活動を企画し、子どもから大人までの一般参加者や家族の参加を得て、交流を深めることができた。 【参加者】①33名(門松作り) ②30名(門松作り) ③22名(星空観察とおきりこみ作り) ④17名(野焼きパンと飾り炭作り) ⑤31名(バウムクーヘン作り) ⑥11名(焼まんじゅう作り) 合計144名

## 第5節 東毛青少年自然の家

### 1 概況

東毛青少年自然の家は、昭和54年11月に「東毛少年自然の家」の名称で開所した。大間々扇状地の中に分離丘陵として島状に連なる八王子丘陵のほぼ中央に位置し、アカマツ、コナラ、クヌギ林に囲まれた中にある。

八王子丘陵は、古生層をはじめ、金山流紋岩、藪塚凝灰岩などから構成されており、動植物の種類も多く自然観察に適している。近くには、茶臼山ハイキングコース、スネークセンター、石切り場、北山・西山古墳、岩宿遺跡などの学習環境にも恵まれ、多くの団体が利用している。

平成22年4月1日、「東毛青少年自然の家」に名称を変更した。

### 2 業務

#### 平成30年度実施事業

	事業名	事業の概要
1	利用団体指導者研修会 【実施日】 ①4月11日(水) ②7月23日(月)	講義や実習を通して、利用団体引率指導者の資質向上と効果的な施設利用を促進することをねらいとして実施した。 【参加者】30年度利用予定団体指導者 ①84名 ②65名
2	青少年ボランティア養成 【実施日】 6月30日(土) 7月1日(日)	講義や実技を通して、地域におけるボランティアの意義や心構えを学ぶとともに施設ボランティアを養成することをねらいとして実施した。 【参加者】高校生・大学生等 31名
3	宿泊自然活動体験 東毛キッズキャンプ 「チャレンジインサマー」 【実施日】 事前学習 7月8日(日) 本学習 8月4日(土) ～7日(火)	テント泊や野外炊事等の生活体験活動、登山等の自然体験活動を通して、子どもたちに社会性や自主性を培うことをねらいとして実施した。 【参加者】小学生 40名
4	青少年ボランティア体験 「高校生等施設ボランティア」 【実施日】 7月～3月の土日祝日 長期休業中等	青少年に主催事業や入所団体活動支援、施設環境整備等、ボランティア体験の機会と場を提供し、主体性や社会性を育むことをねらいとして実施した。 【参加者】高校生等 延べ180名
5	親子キャンプ 【実施日】 ①8月25日(土)～26日(日) ②9月1日(土)～2日(日)	キャンプ体験初心者の親子を対象に、野営や野外炊事などのアウトドア体験活動を実施することで、保護者の野外活動に関するスキルアップを図るとともに、親子のふれあいやきずなを深める一助とすることをねらいとして実施した。 【参加者】①親子 32名 ②親子 24名



6	青少年自立支援 「ぐんまいさいきチャレンジ」 <b>【実施日】</b> ① 5月1日(火)～2日(水) ② 9月20日(木) ③ 12月2日(日) ④ 12月12日(水) ⑤ 2月23日(土)～24日(日)	様々な要因で社会（主として学校）とうまく関わることで きない青少年を対象に、種々の活動等を体験させることで、社 会生活への適応力を育むことをねらいとして実施した。 <b>【参加者】</b> 177名(参加児童生徒79名・保護者等98名) <b>【特記事項】</b> 適応指導教室、関係諸機関との連携を図った。
7	群馬県民の日記念事業 とうもうオープンデー <b>【実施日】</b> 10月28日(日)	野外炊事やクラフト等の諸活動を通して、県民に自然体験活 動のよさを普及、啓発することをねらいとして実施した。 <b>【参加者】</b> 県民(幼稚園児～一般・指導者) 390名
8	焼まんじゅうづくり 「体験しよう！郷土の食文 化」 <b>【実施日】</b> 12月8日(土)	郷土の食文化である焼まんじゅうづくりを通して、県民に自 然体験活動のよさを普及、啓発することをねらいとして実施し た。 <b>【参加者】</b> 家族・一般 54名
9	もちつきとミニ門松づくり 「体験しよう！日本の伝統 文化」 <b>【実施日】</b> 12月15日(土)	伝統文化を体験することで、子どもの感受性や自主性を育て る。また、共同作業により、親子のきずなを一層深めることを ねらいとして実施した。 <b>【参加者】</b> 親子 42名
10	石がま焼きピザづくり 「体験しよう！群馬の粉文 化」 <b>【実施日】</b> 2月16日(土)	ピザづくりを通して、親子・家族とのふれあいを深める。ま た、粉からピザをつくることを通して群馬の粉文化理解の一助 とすることをねらいとして実施した。 <b>【参加者】</b> 家族・一般 51名